

**CH62-1463**

Made In Vietnam

Landwell, Inc.Aoyama Crystal Building, 7F 3-5-12 Kitaaooyama
Minato-ku Tokyo 107.0061
TEL 03-6432-9550**BEETLE 2 ROOM TENT 3****取り扱い・組み立て説明書****この取り扱い説明書は大切に保管してください。**

この度はチャムス製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
設営の際は水はけが良く、出来るだけ平らな場所を選んでください。
また、石や木の枝等、テントを傷つける恐れのあるものは、あらかじめ取り除き、
整地してから設営してください。

セット内容・各部名称

《セット内容》 お出かけになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

・インナーテント	1 張	・ガイローブ長 (グレー)	2 本
・フライシート	1 張	・ガイローブ短 (赤)	8 本
・メインポール (シルバー)	2 本	・収納袋 (本体用)	1 個
・前室ポール (ブラック)	1 本	・収納袋 (ポール用)	1 個
・フロントポール (オレンジ)	1 本	・収納袋 (ガイローブ・ベグ用)	1 個
・スチールペグ	22 本		

《各部名称》



組み立て・使用上の注意及び禁止事項



危険 この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかす恐れがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテントの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテントを設営しないでください。



注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品がそろっているか確認してください。
- テントの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールの破損や本体破れの原因となります。
- テントの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールの跳ね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールの組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテントの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テントを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント本体はペグで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テントを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の状態を確認しておいてください。
- テントから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テントが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について
テントの生地には撥水加工が施されていますので外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することが出来ます。

収納・管理の注意

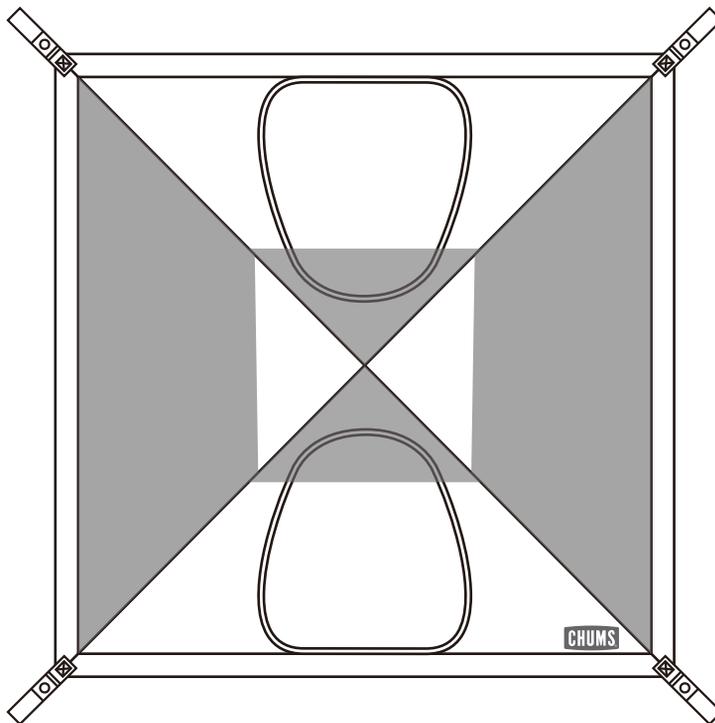


注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを十分に落とし、十分に乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態での収納しますと、色移りやカビの発生の原因となります。
- 撤収時、本体を乾かせない場合は、出来るだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布でふき取り、よく乾燥させてから保管してください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色及びプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

設 営 手 順

STEP: 1 広くて平らなスペースにインナーテントを広げます



注 意

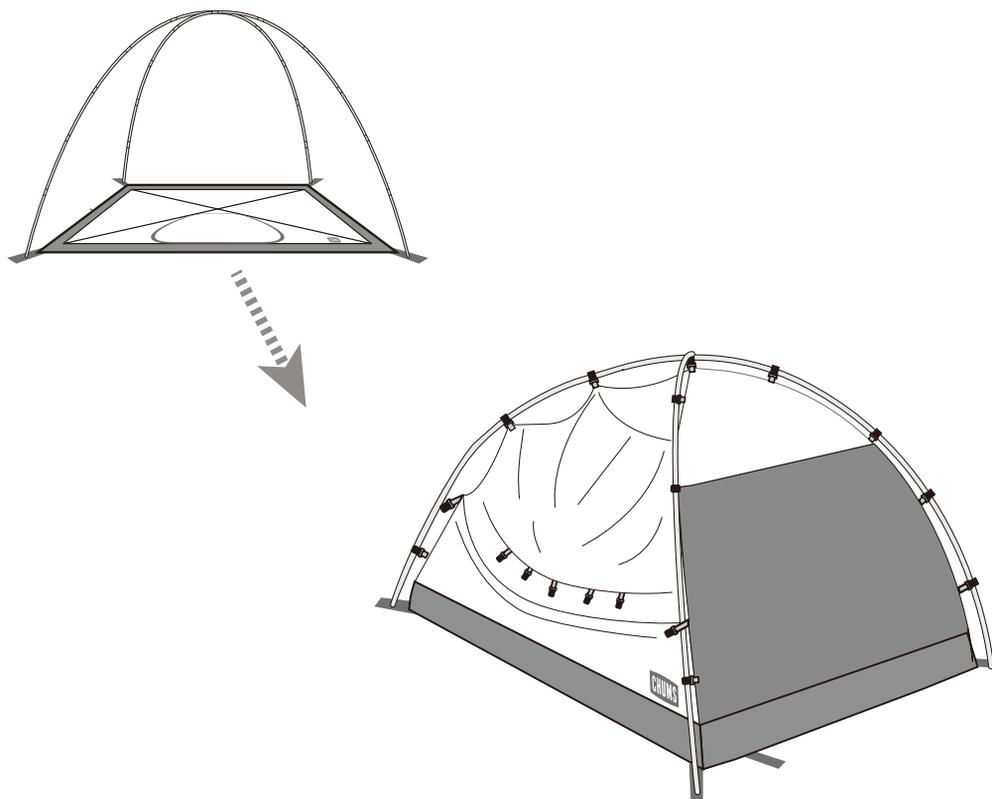


インナーテント（本体）を広げる際は、インナーテント（本体）の下に大きな石や切り株等がない事をご確認下さい。

設 営 手 順

STEP: 2

メインポール（シルバー）を組み立て、図のようにインナーテント4隅のグロメットに差し込み、インナーテントについているフックをメインポールにかけていきます。



注 意

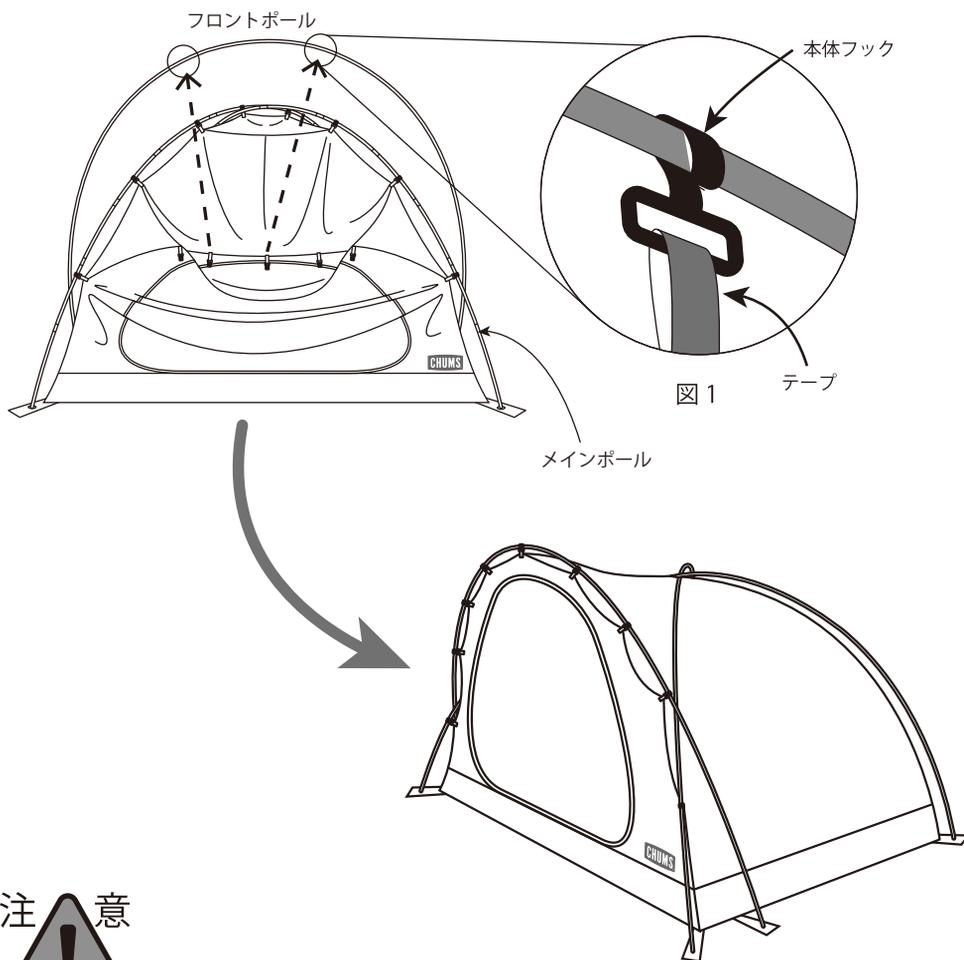


ポールを組み立てる際は周囲に注意して組み立ててください。

設 営 手 順

STEP: 3

フロントポール(オレンジ)を組み立て、図のようにインナーテントについているフックをフロントポールにかけていきます。



注 意

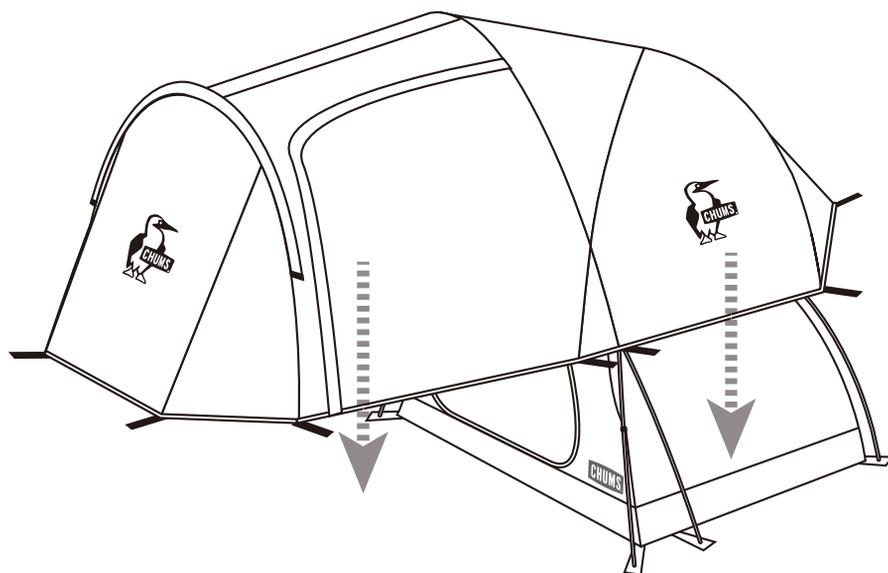


フロントポールと前室用ポール間違えて使わないようにしてください。
ここで使うポールはフロントポール(オレンジ)です。

設 営 手 順

STEP: 4

出入口方向を確認して、フライシートをインナーテントに被せます。



注 意



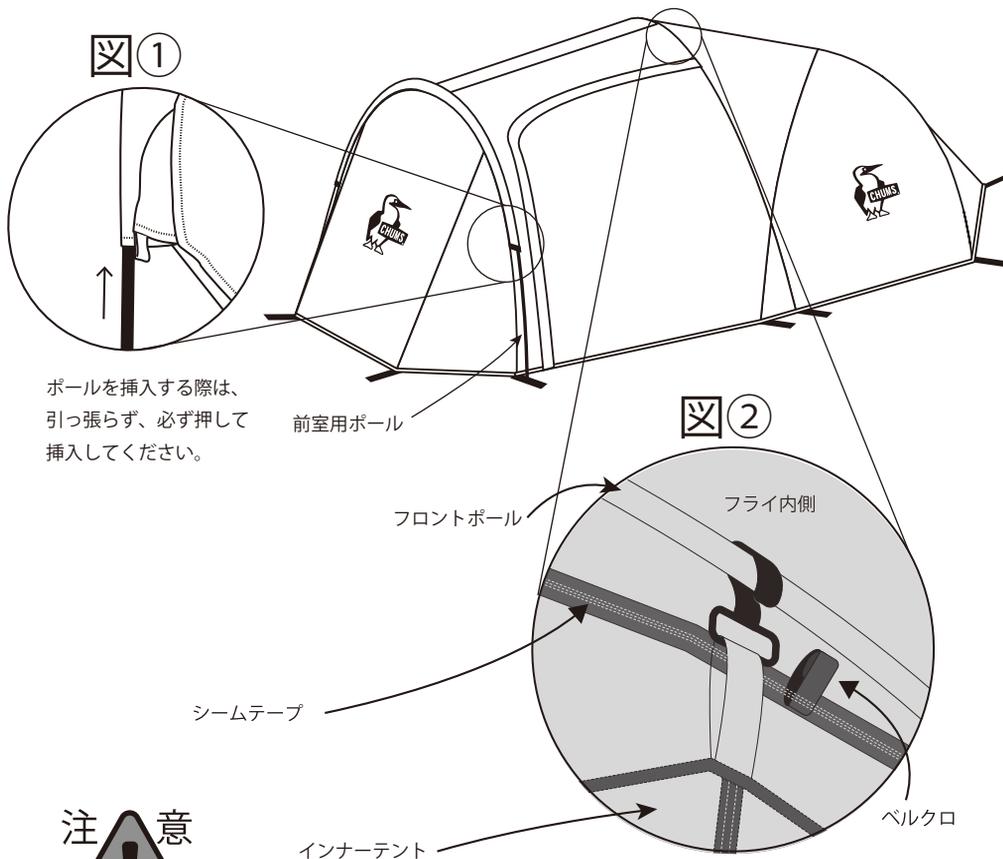
突風に注意して、フライシートを被せて下さい。風上から風下に向けて被せると被せやすいです。

設 営 手 順

STEP: 5

前室用ポール（ブラック）を組み立て、前室部分のポールスリーブに通します。（図①）

フライシートの内側から出ているベルクロでフロントポールとフライシートを固定します。（図②）



ポールを挿入する際は、
引っ張らず、必ず押し
て挿入してください。

注 意

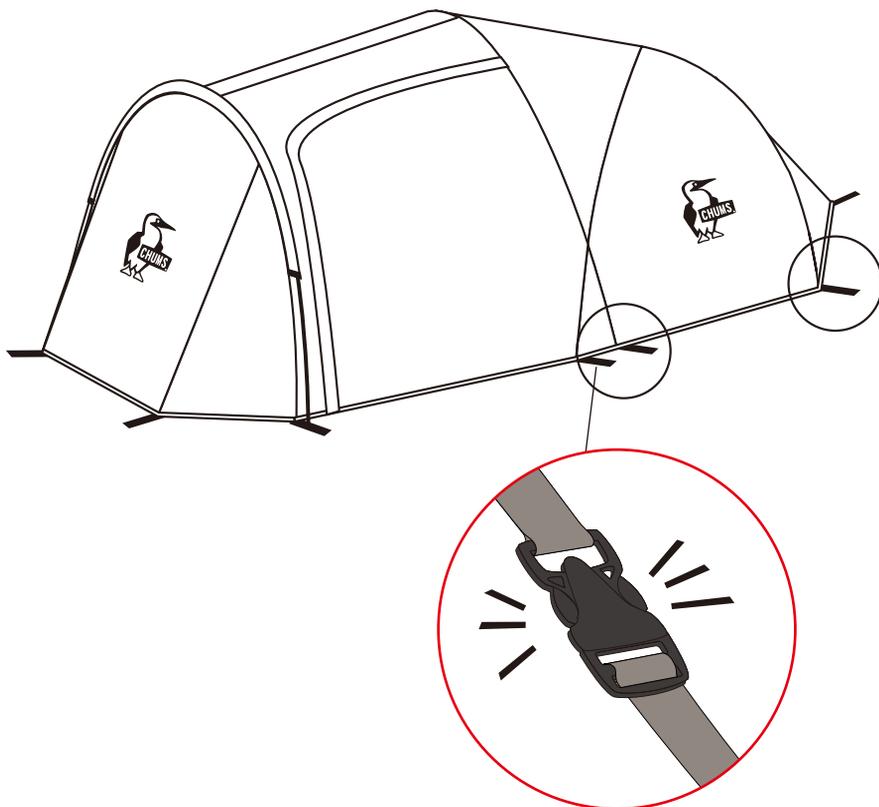


ポールを挿入する際は、引っ張らず、必ず押し
て挿入してください。

設 営 手 順

STEP: 6

フライシートとインナーテントをバックルで固定します。



注 意

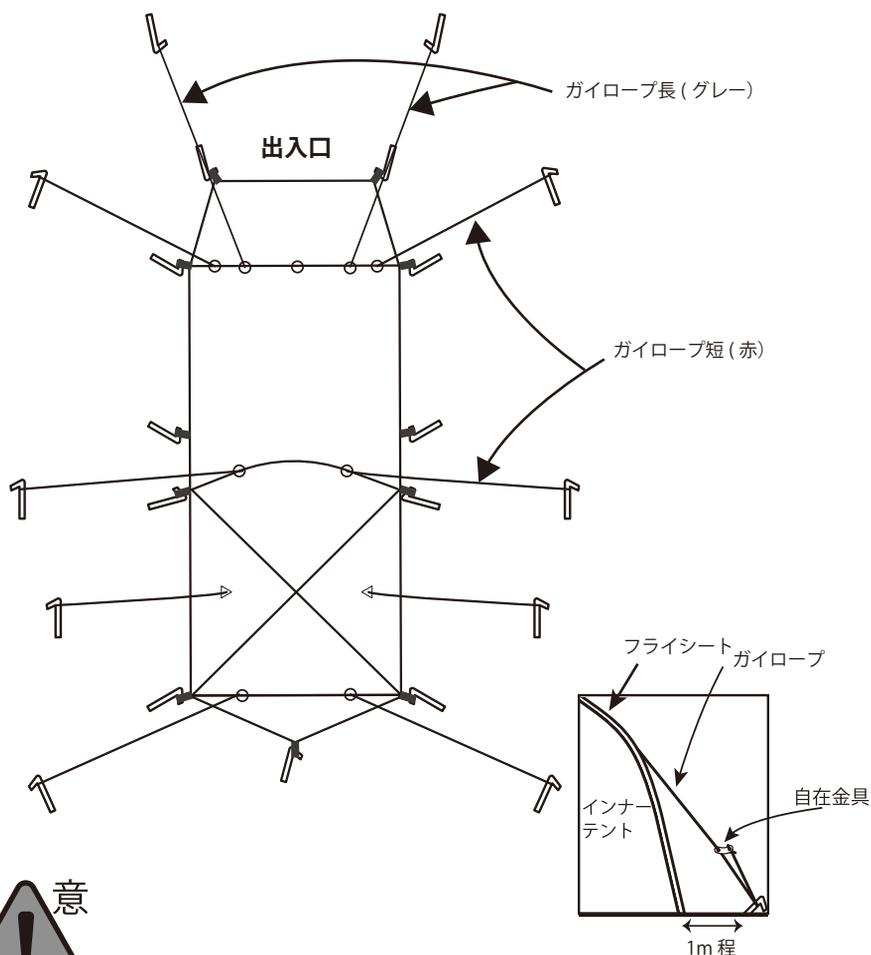


フライシートが偏ったり、たるみが無いようにバランスよく全体を整えます。

設 営 手 順

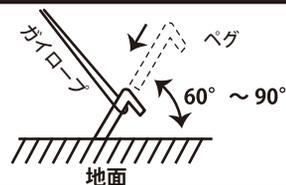
STEP: 7

ガイロープ長 (グレー) を出入口側の 2 か所に付けて、それ以外はガイロープ短 (赤) を付けて、ペグダウンして完成です。



注 意

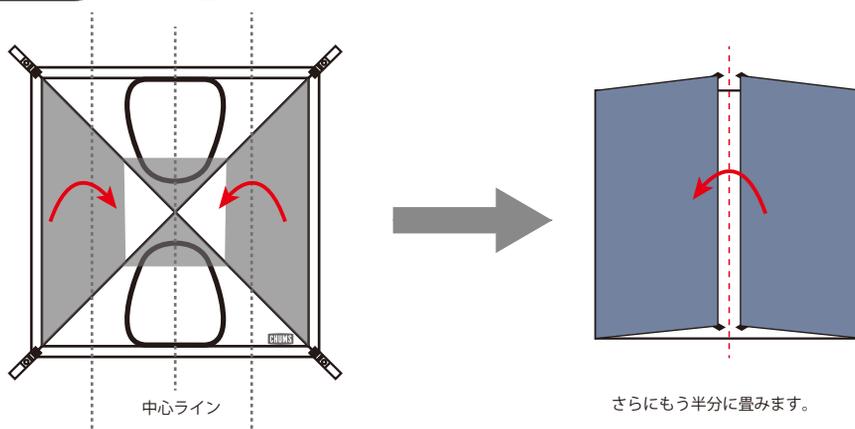
ペグは右図のように地面に対して $60^\circ \sim 90^\circ$ の角度で打ち込むと効果的です。



撤 収 手 順

STEP: 1

テントに固定したペグ、ポールを全て外して、テントの汚れを落とし、十分に乾燥させてからフライシートを外し、広げて置きます。
この時空気が抜けるように、入り口下側のジッパーを開けておきます。

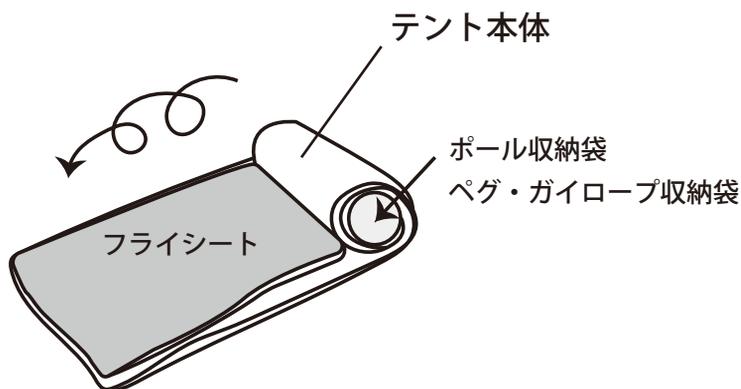


両サイドから中心ラインに向けて半分に畳みます。

さらにもう半分に畳みます。

STEP: 2

ポールを全て折畳み、ポールケースに収納し、ペグ、ガイローブも全て収納袋に収納し、空気をしっかり抜きながら巻いて、キャリーバックに収納して完了です。



注 意

ポールをたたむ時は必ず中央から折りたたんでください。ショックコードの破損の原因になります。

20SSV01